

外部評価 様式

令和4年度 城東小学校 外部評価 記入用紙	
評価委員：加藤一男委員、清水貞男委員、富田正一委員、千葉家門委員、倉橋邦夫委員 江口雅子委員、流川貴史委員、小村眞理委員、劔持隆委員	
評価時期	令和4年2月
1 重点目標の評価	
重点目標1「確かな学力の向上」について	
<ul style="list-style-type: none">・新校舎に移り、注目を集めている中で高い評価を受けていることは、教職員が頑張っている様子が伝わってくる。・城東小の卒業生を講師にした茶道教室が開かれるとのことだが、大変良いことだと思う。今後も地域人材を活用してほしい。・新しい環境で多方面に可能性が広がるが、これまでの教育活動に加え、伝統文化を取り上げることで、より創造力が高まるのではと期待する。・新しい環境を活かして、地域・企業と連携してキャリア教育につなげていくことを期待する。・理数教育パイロット校として、立地のよさなど期待の大きい学校である。様々なものをどう位置付けていくかが今後の課題である。	
重点目標2「心豊かな子どもの育成」について	
<ul style="list-style-type: none">・子どもたち自身のたてわり班活動の評価が高く、互いの関わりが良好なことが分かる。・これから小規模校から中規模校に変わる時期であるが、これまで培ってきた上級生が下級生を慈しむたてわり班などの交流を大切にして、伝統を受け継いでいくことを期待している。・あいさつキャンペーン等の成果を数値化して子どもたちに分かりやすくとらえることができたことは評価できる。他の活動でも子どもたちに成果が見えるようにできると良い。	
重点目標3「健康・安全教育の充実」について	
<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症が2類から5類に見直される方向だが、マスクの着用等に関して、区の方針を受けながら適切に判断・対処していくことが望まれる。・地域の方々の協力も得て、無事、新校舎に移転できたようだ。登下校を含め、今後も安全の維持のために学校・保護者・地域が協働していくと良い。・地域人材を活かした体験的な学びを通して、地域の方々とふれあいも高まり、一層の健全育成にもつなげられるのではないかな。	
2 今後の改善に向けた意見	
<ul style="list-style-type: none">・ミッドタウン八重洲に位置する学校として、新しい環境を活かすとともに、不易と流行を考えた教育活動の精査が必要になってくる。教員の働き方改革にも目を向けて、検討すること大切である。	
3 その他の意見	
<ul style="list-style-type: none">・外部評価委員会でも、学校、PTA問わずに、フランクに今後の方向性を話し合っていきたい。	